柏原市立柏原小学校
かししょう
「深く学ぶ子・ともに生きる子・最後までがんばる子」

令和8年７月15日
柏原市立柏原小学校
No.４

夏休みがやってきます。1学期を無事に終えてホッとする夏休みは、教員になってからのこと。子どもの頃は、期待感でワクワクする夏休みを待っていました。旅行やイベントが待っている楽しみな夏もありましたが、家族が受験だったり、入院したり、子どもなりに我慢の夏も何度かありました。それでも夏休みが楽しみだったのは、解放感だけではなく、自分への期待感もあったような気がします。

私は、何をするにも時間のかかる子どもだったので、苦手の練習に時間をつかうことも多かったです。逆上がりができるようになったのも夏でした。初めてバタ足ができたのも、夏の市民プールでした。４７都道府県を覚えたのも、ことわざをたくさん覚えたのも、なみ縫いがまっすぐできるようになったのも夏休みでした。みんなと同じ速さでできなくても、時間をかければ身につくことがたくさんあるということを、夏休みは教えてくれたように思います。

また、夏休みは、キャリア教育に絶好のチャンスです。家庭生活において、自分が役に立っていると実感することは、自己肯定感・自己有用感が高まるため、健全な成長につながることが、多くの研究で報告されています。将来のキャリアに直結するだけだはなく、責任感、忍耐力、思いやりの心を育み、学力にも良い影響があるとされています。子どもの負担にならない程度で、お家の方が助かる「お手伝いを毎日すること」を、夏休みの宿題にしようと思います。

すぎのこ学級交流会

本校には６学級の支援学級があります。子どもは誰でも学ぶ権利を持っていて、可能性を最大限に伸ばす学びの場が保障されなければなりません。「人は、得意なことも苦手なことも一人ひとり違うこと。それはあたりまえだということ。得意なことはどんどんできるように、苦手なことはがんばって克服できるように努力しているのは、みんな同じだということ。学び方や学ぶ場は違っても、自分に一番合った場でがんばっていること」という人権感覚を磨く授業を、支援学級担任が学年に応じて行いました。

子どもは皆、未熟な存在です。失敗したり、忘れたり、考えが足りなかったり、傷ついたり傷つけたり、トラブルはありますが、その都度、みんな同じ人間で、大切な存在だということを学んでいきます。一つひとつ「人を大切にする」ということを学んでいきます。

何かを学ぶ時、子どもは、なんともいい顔をします。すぎのこ学級交流会の時の子どもたちは、とてもいい表情をしていました。



歯をなおしましょう

１学期の間に、たくさんの健康診断をしました。治療勧告のお手紙はきちんとお家の方に届いているでしょうか。「どうせ見ないもん」と言う子がいましたが、ほんとかな？

健康な身体があってこそ、いろんなことをがんばれます。悪いところを治すことは、自分を大切にする基本的な姿勢につながりますし、自分が大切にされている実感にもなります。治療が必要な場合は、夏休みの間に時間をつくっていただき、治療を済ませておきましょう。

特に子どもの歯は、大切です。早めに治療して、虫歯の進行をとめましょう。







１学期のスナップ



交通安全教室

安全に登校してね。



なかよし集会

楽しい時間は短く感じるね。



そうじの時間

教室も心もきれいだね







保護者の皆さまへ

1学期が終わります。日々の学習活動をはじめ、暑い中での遠足、曇り空での水泳学習等、全て無事に子どもたちに経験させることができましたのは、毎日の健康管理のおかげと感謝しております。ありがとうございました。

「あたりまえを積み重ねると特別になる」と言いますが、たくさんの子どもたちを見ておりますと、あたりまえの有難さを感じます。あたりまえのことであっても、続けることは難しいものです。だからこそ、あたりまえが何よりも強いのだ、とも同時に感じます。

夏休みが始まります。子どもたちにとって、健康で、平穏な日々があたりまえのように続き、大きく成長する夏休みとなりますよう、あたりまえの規則正しい生活をお願いいたします。

また、交通事故や水難事故等、学校でも注意喚起、指導は行っておりますが、夏休みにはあらためてご家庭でもご注意ください。さらに、SNS関連の予期せぬ事件、事故にまきこまれやすいのが夏休みであると警察から聞いております。学校では、小学生の携帯電話所持を推奨しておりませんが、持たせておられる場合は、ご家庭でのルールを確認、目配りして、子どもたちを守っていただきますようお願いいたします。

この夏も暑くなりそうです。皆さま、どうぞご自愛ください。